

特別賞(ふるさとデザイン賞)

都市計画道路 東町中町線県単街路事業

(表彰対象者：岐阜県大垣土木事務所)

表彰の理由

本路線は、国道21号と国道365号を結び交通渋滞の解消を図るとともに、関ヶ原の歴史と伝承を48枚のイロハカルタとして橋の高欄にはめ込み、表面修景を行うなど周辺環境に配慮したデザインにした。

事業のあらまし

東町・中町線は、関ヶ原地内にある国道365号と国道21号を連絡する都市計画道路である。近年の交通量の激増による交通渋滞は、特に冬期に集中している。よって地域開発の促進、冬期交通の確保を図る為、バイパス工事に着手した。
わざみの橋はその一環として施工したものである。
●総延長：1,638m (内橋梁15.0m)
●幅員：13.0m
●事業費：1,400百万円
●事業実施期間：昭和53年～平成2年



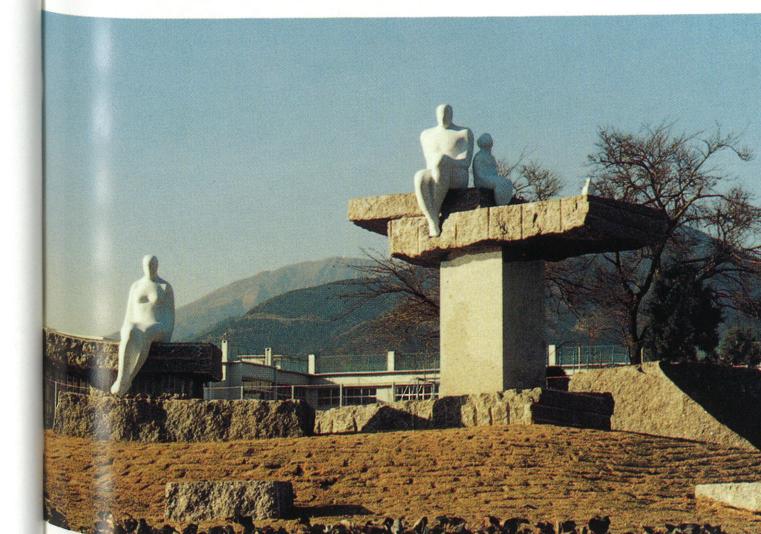
中央の道路（東町・中町線）の内、梨木川にかかっている橋がわざみの橋である。



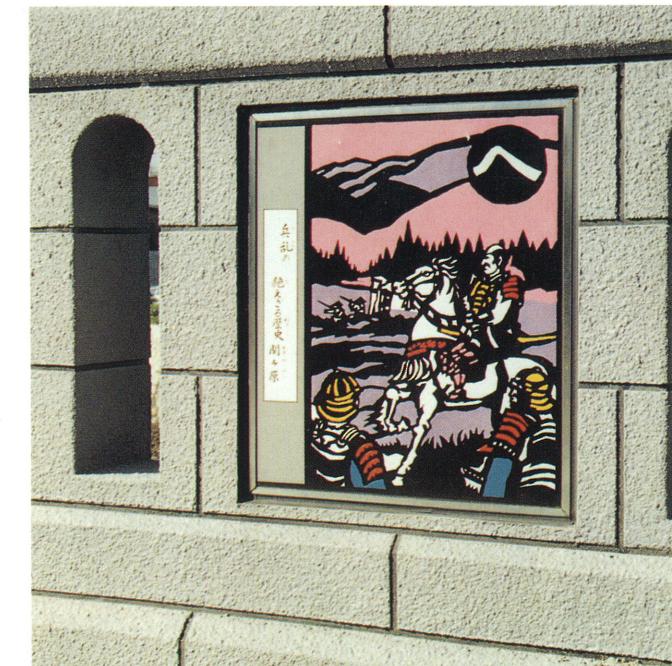
高欄に平行に、はめ込んであるのは、郷土の歴史と伝承をうたつたイロハカルタである。



歩道に、みかけ石と関ヶ原町の花・梅のレリーフを敷きつめて、石の町・関ヶ原を表わしている。



石のモニュメントは、男性、女性、鳩を表現することによって人類の堅い絆と未来の平和を主張している。



カルタ1枚の大きさは縦60cm、横50cmでアルミ板にカラー印刷したものである。

事業遂行上の工夫

わざみの橋の高欄には、郷土の歴史と伝承をうたつた48枚のイロハカルタをはめ込む事によって、橋を渡る人々が町の由来、伝承文化に触れられる趣向になっている。また、歩道の梅のレリーフやみかけ石、橋近くの石のモニュメントは、民間の寄付によるもので、官民総出の修景事業として利用されている。